

第3章

環境基本計画の目標

市民・事業者・市に共通する長期的な目標として、本市が目指す環境像を掲げます。

その実現に向けて、計画の柱となる基本方針及び基本目標を設定します。

- 1 鳥取市が目指す環境像
- 2 基本方針・基本目標

1 鳥取市が目指す環境像

現在の恵まれた本市の環境を維持し、育み、次世代に残していくためには、地球環境を守る視点で、長期的展望に立った目指すべき本市の環境像を描き、それを市民・事業者・市が共有することが大切です。

まちづくりの基本となる「第9次鳥取市総合計画」では、将来像に“人が輝き まちがきらめく 快適・環境都市 鳥取”、まちづくりの目標の1つに“緑あふれる日本一のふるさとづくり”を掲げています。

本計画では、目指すべき環境像を次のように設定し、市民・事業者・市の協働によって、本市の抱えるさまざまな環境問題の解決に向けて取り組んでいきます。

目指す環境像

みんなでつくろう 快適でみどりあふれる とっとりライフ

◆「目指す環境像」に込められた思い

みんなでつくろう

地球温暖化などのさまざまな環境問題に対して、だれもが将来の地球環境や、将来の本市の環境のためにできることを考え、先人から受け継いだ恵まれた環境を次代に引き継ぐために取り組みを進めます。

快適でみどりあふれる とっとりライフ

第9次鳥取市総合計画において、本市が誇る恵まれた水、緑などの自然環境や固有の風土が育んだ伝統文化が守られ、自然と共生する快適な生活を「とっとりライフ」と表現しています。

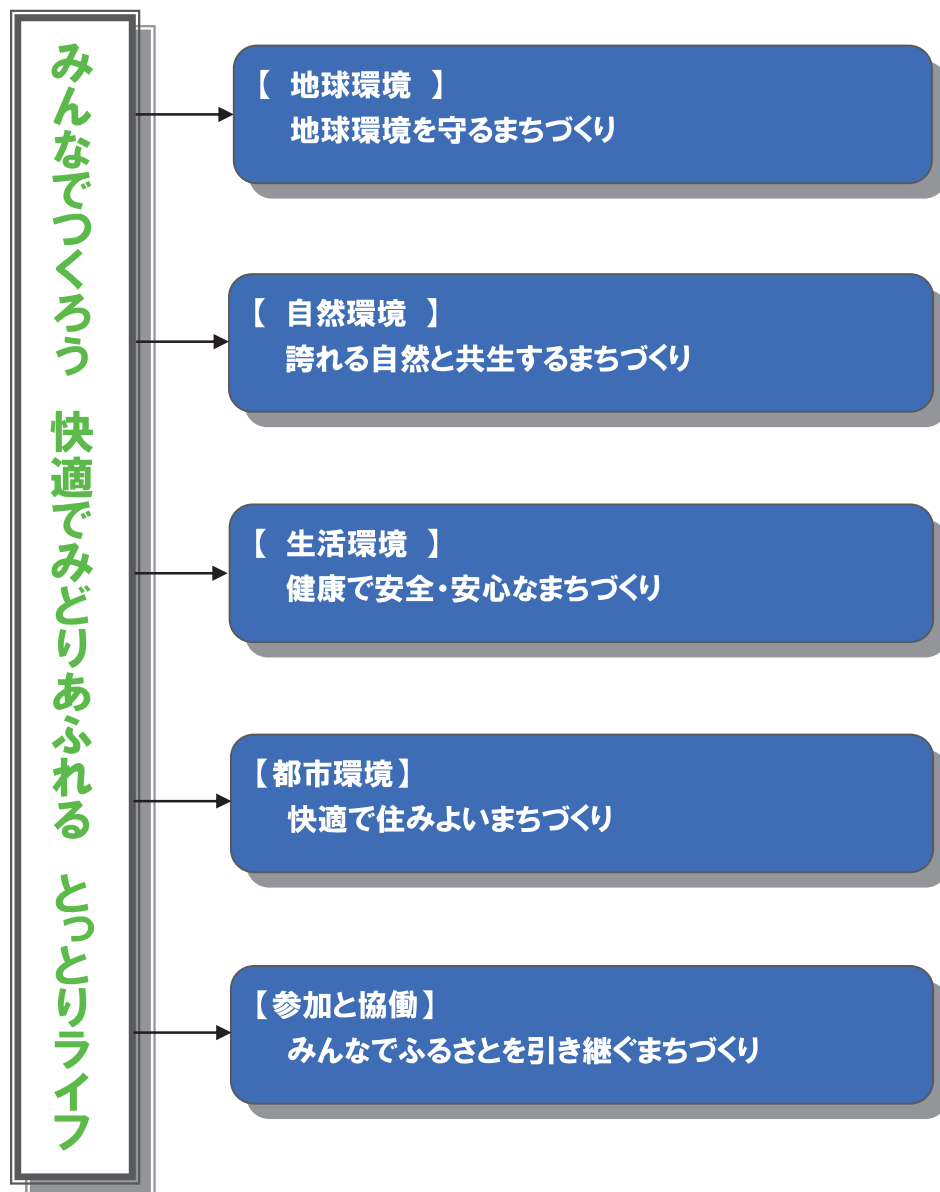
快適で利便性の高い住みよい生活空間を実現するとともに、緑豊かな自然環境との調和や景観に配慮したまちづくりを進めます。

2 基本方針・基本目標

本市が目指す環境像を実現するためには、第2章で明らかにしたさまざまな課題に取り組んでいく必要があります。そこで、環境の保全と創造の方向性を明確にするため、計画の柱となる5つの基本方針及び環境項目ごとに19の基本目標を設定します。

目指す環境像

基本方針



地球環境 地球環境を守るまちづくり

IPCC（気候変動に関する政府間パネル）※1などの報告から、現在、深刻な環境問題の一つである地球温暖化が進行していることには疑う余地がなく、今後温暖化が進行することで、世界的な異常気象の発生、感染症被害の増加、農業への影響など、人類の社会・経済活動に極めて大きな悪影響を及ぼす可能性も指摘されています。日本国内においても、近年、都市部における最高気温の更新やゲリラ豪雨など、地球温暖化によると考えられる影響が増えてきています。

このような地球規模の環境問題に対処していくためには、私たち一人ひとりの生活形態の転換や再生可能エネルギーの普及など、低炭素社会※5の実現につながる身の周りの取り組みが必要です。

基本目標 1 『地球温暖化の防止』 【重点プロジェクト1】

基本目標 2 『その他の地球環境保全』

自然環境 誇れる自然と共生するまちづくり

本市は、中国山地から日本海へ注ぐ千代川により形成された鳥取平野を中心に、海・山・川・池など多くの自然環境に恵まれた都市です。これらの自然環境資源は、次世代に継承すべき市の財産であると言えます。

本市の貴重な自然環境資源を保全するため、市民・事業者・市の参加と協働の取り組みを推進し、自然と共生するまちづくりを進めていきます。

基本目標 3 『山林・農地の保全』

基本目標 4 『生物多様性の確保』

基本目標 5 『自然とのふれあいの確保』 【重点プロジェクト2】

※1 IPCC（気候変動に関する政府間パネル）：各国の研究者が政府の資格で参加し、地球温暖化問題について議論を行う公式の場として、国連環境計画（UNEP）及び世界気象機関（WMO）の共催により1988年11月に設置されたものです。

※5 低炭素社会：地球温暖化の原因である温室効果ガスのうち、大きな割合を占める二酸化炭素の排出が少ない社会のことです。

生活環境 健康で安全・安心なまちづくり

これまでの大量生産・大量消費・大量廃棄の社会構造から、近年、廃棄物関連法整備に伴う分別排出の浸透など、市民・事業者の環境意識の高まりによってごみの減量化、リサイクルが進んできています。

本市では、限りある資源を大切に有効に利用していくため、循環型社会の構築を目指したまちづくりをさらに進めていきます。また、産業活動により発生する大気や水質などの環境汚染に対し、さまざまな取り組みが行われた結果、近年、産業型公害は改善してきている一方で、生活騒音や悪臭、自動車の騒音・振動、自動車排出ガスといった生活型公害が増加する傾向にあります。今後も引き続き、これらの公害の発生を監視し、適切な対策を行うことで、環境負荷を低減させ、市民がより健康で安全・安心して生活できるまちづくりを目指します。

基本目標 6 『 資源循環の促進 』 【重点プロジェクト3】

基本目標 7 『 大気汚染の防止 』

基本目標 8 『 水質汚濁の防止 』 【重点プロジェクト4】

基本目標 9 『 騒音・振動の防止 』

基本目標 10 『 悪臭の防止 』

基本目標 11 『 土壌・地盤の保全 』

基本目標 12 『 化学物質の環境リスク対策 』

都市環境 快適で住みよいまちづくり

本市の市街地の景観は、恵まれた自然的景観と鳥取城跡をはじめとする歴史的景観、そして生活空間が一体となって形作られています。これらの都市景観や緑地の創造などを推進し、魅力ある都市の形成を進めていきます。

また、現在の公共交通体系を見直し、新たな総合公共交通システムを構築することにより、市全域どこでもだれでも使いやすい交通体系の実現に向けた取り組みを進めていきます。

基本目標 13 『 緑地・公園の整備 』 【重点プロジェクト5】

基本目標 14 『 景観・美観の保全 』

基本目標 15 『 歴史・文化的環境の保全 』

基本目標 16 『 環境に配慮したまちづくりの推進 』

参加と協働 みんなでふるさとを引き継ぐまちづくり

環境の大切さを知るためには、さまざまな環境情報に目を向け知識を蓄積していくことが重要です。これまでも学校教育や生涯学習などの場では、環境を学ぶプログラムを取り入れ、環境の大切さを学び、自然と触れ合う機会の創出を行ってきました。

今後も充実した環境情報を提供し、環境教育・学習を推進することにより市民の意識啓発を促すとともに、市民が参加しやすい環境活動を創出していきます。

基本目標 17 『 環境学習・教育の充実 』

基本目標 18 『 環境情報の効果的な提供 』

基本目標 19 『 参加と協働の推進・活性化 』